

# クラウドのファイル共有機能で、課題の「配布」「提出」「返却」を行う

## <期待される効果>

【児童・生徒】○教材をデジタル化することで、拡大して表示したり、効率的に反復練習したりすることができる。

【教師】○ファイル共有機能を使って、課題の「配布」「提出」「返却」を管理することができる。

## <学習場面> 個別学習



## <機能・ツール>

### 【共有】

M365：Teamsファイル、課題  
(word、Excel、PowerPoint)

Google:Googleドライブ  
(スライド、ドキュメント、  
スプレッドシート)

ロイロ：提出箱、資料箱

ミライ：オクリンク

【その他】描画キャンバス

## <モデル事例>

○課題となる資料を児童・生徒にオンライン経由で配り、児童・生徒はその画像を自分の保存領域に保存する。

○児童・生徒は、保存した画像を描画キャンバスに貼り付けて、課題に取り組む。

○完成した課題を絵として保存し、あらかじめ宿題提出用で児童・生徒に配布したスライドに貼り付ける。

○児童・生徒は担任にオンラインで提出する。

○教師は、コメントなどを付けてオンラインで児童・生徒に返却する。

## <ポイント>

○描画キャンバスで文字を書いたりなぞったりする際に画像を拡大させて書くことができるため、書きやすい。

## <注意点>

○スライダーページにつき一枚の課題を貼り付けるようにすると分かりやすい。



## <ハッシュタグ>

#中級 #個別学習 #ファイルの共有 #主体的 #課題提出